

寄附講義レポート④

記：種坂・糸川

1. 実施日： 2023年11月02日（木）

2. 講師： 城 大輔さん（51期）

三井住友信託銀行 不動産企画部営業推進チーム長

自己紹介 職歴～個人事業、不動産事業、経営管理各部、不動産事業（出向含む）

クイズ担当者

大阪本店総括部 湯浅 正祥 人事チーム調査役

3. 講義テーマ：「信託銀行のビジネスモデル」

(1) 平成の金融の歴史と課題・・・日本版ビッグバン構想1996年、失われた20年
金融危機と再編：平成元年～28年に統合により都市銀行13＋長信銀3＋信託7
→3メガバンク＋三井住友トラスト＋りそなの5グループに再編

(2) 信託銀行の概要（銀行と信託銀行の違い）・・・業務領域の範囲、取扱い資産の種類
銀行：預金・貸出・為替（金融資産を預かる、貸す、運用する）

信託銀行：能力・資産・時間転換の3機能（投資信託、不動産証券化、年金信託）

(3) 信託銀行の業務・・・銀行・証券・生命保険・AM・不動産・コンサル・ITなど
信託関連ビジネス以外強み～資産運用残高121兆円、資産管理残高256兆円、
証券代行シェア42%、不動産証券化受託24兆円、不動産関連収益697億円
個人のお客様向け商品・・・投資信託・個人年金・住宅ローン・遺言信託・遺産整理
法人・投資家向け商品・・・資産運用・不動産・年金コンサル・証券代行・IRサポート

※証券代行業務・・・株式法務、IR・SR、株式上場、株式資本などのコンサル

※不動産事業・・・融資、受託、投資マネージ、開発、流通、管理まで総合機能を持つ

※マーケット事業・・・金融市場で為替・金利・株式などの商品を24時間売り買い

(4) 信託銀行の歴史

日本を支えてきた信託銀行・・・①貸付信託で集めた資金を重厚長大の基幹産業に供給

②経済成長で生活向上して社会保障・福利厚生面で年金信託・財形信託の登場③財を

社会に還元する要請から公益信託④公有地の有効利用から土地信託で地域活性化

※信託銀行の変遷・・・三井住友信託銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行に集約

※信託銀行の将来・・・変化への対応力、間接金融の終焉、利ザヤからフィー、専門4.

(5) クイズ「なるほど・ザ・信託」4～5人でグループ編成

Q1からQ8で各グループ最高で3問正解

粗利に占める手数料割合②信託による管理が可能な資産③身近で信託業務に繋がる

もの④当社の顧客の資産を運用の残高⑤所有権を持つ不動産物件⑥企業内弁護士数

ランキング⑦当社のSDGSについて・・・インパクトエクイティ5000億円、サス

テナブルファイナンス・ポジティブインパクトファイナンスなど⑧当社の働き方につ

いて・・・男性育休取得率100%、年間有給休暇取得日数16日

・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・

(6) グループワーク「信託の新商品を開発」

- ① 商品名：
- ② 委託者・受託者・受益者：
- ③ 信託目的と狙い
- ④ 各グループ発表

再生エネルギー、別荘・空き家・空き店舗、高級品等の信託事業を考案

(7) (参考) 会社概要

⑤ 従業員数 13,740 人、国内拠点数 149、海外拠点数支店 5・駐在員 5、設立 1925 年

⑥ 信託銀行を中核とする金融グループ・・・三井信託+中央信託+住友信託銀行
商業銀行を中核とする金融グループ・・・三菱UFJフィナンシャルグループ、三井
住友フィナンシャルグループ、みずほフィナンシャルグループ

存在意義・・・信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を
花開かせる（信じてます、社会にポジティブなインパクト、一人一人の豊かさの
実現に貢献）

ブランドスローガン

(8) おまけ

三井・・・三方よし

住友・・・自利利他公私一如

松下・・・物心一如の繁栄・水道哲学

※小テスト30分

- ① 信託銀行と普通銀行の違いとは？
- ② 信託銀行で働くとしたら、どういう業務をやりたいか
- ③ 講師もしくは当社への質問・要望

※感想（種坂）

UFJ信託銀行が三菱信託銀行に統合された2005年に私は退職しました。その前々年に講師の城さんは住友信託銀行に入社したようです。UFJと住友の信託統合の計画が破綻していなければ同じ職場だったかも知れません。金融ビッグバンを経て、講師もリーマンショックや三井信託との経営統合があって直接間接に現場で苦労したかと想像されます。

信託銀行は基本的な経営形態は本日講師が述べたように変化はありません。統合で退職を余儀なくされる時代の厳しさ、リーマンショックでのボーナスカットなどぬるま湯で生活した銀行員は震え上がったのは事実であります。

しかし信託商品が多様化され、社会の要請にマッチした財務商品が開発されてきたのも事実で、信託銀行の経営や商品の変化のスピードについて行けたかは自信がないのが正直な感想であります。今日の講義を拝聴してある意味で良い時代の信託銀行に生きたと思います。今日は久しぶりに信託の業界用語をふんだんに聞かせてもらって、20年前にタイムスリップできたのは何よりの喜びです。

ホワイトボードの利用について、スタッフの申し出をご了承いただきました。ホワイトボードについては慣れている学生がいるグループは有効に使用していましたが、そのグループは議論が深まって良い発表になっていたと思えました。ありがとうございました。

※感想（糸川）

- （１）信託銀行の仕組みを詳しく説明され、信託銀行の強みを強調していた。
- （２）信託銀行、銀行等の歴史の説明もあり、学生たちの経済界・金融界について知識習得の機会になった。
- （３）グループワークでは、新規の信託業務考案について、学生たちが真剣に討議考案をしていた。
- （４）就職にあたっては、「自己分析をしっかり行い自分ならではの答えを見つける」と力強いアドバイスがありました。

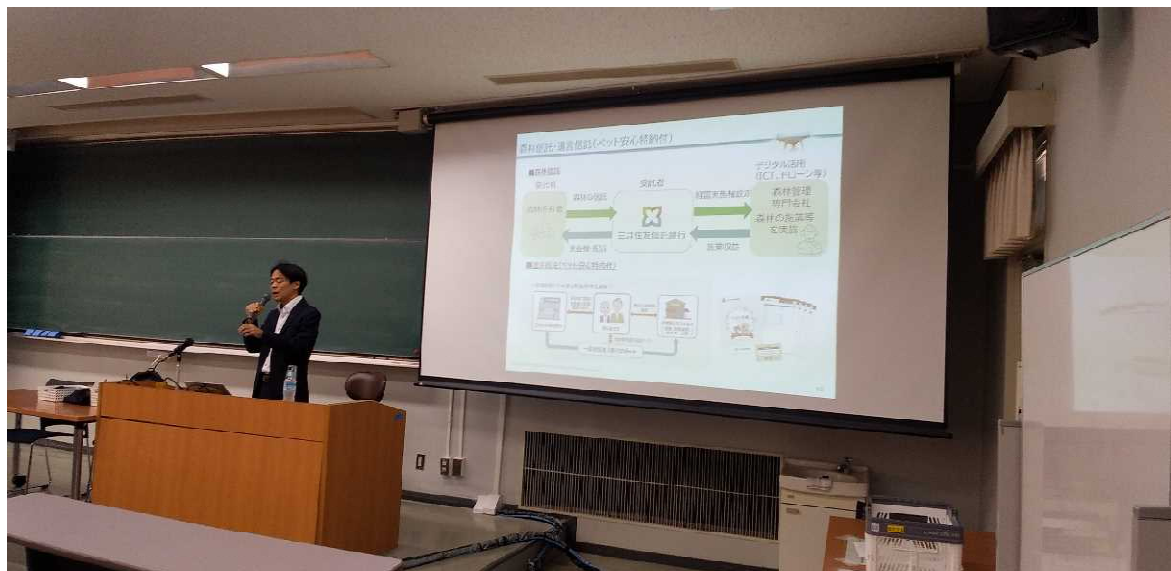
講義風景①城講師による「信託銀行のビジネスモデル」の講義



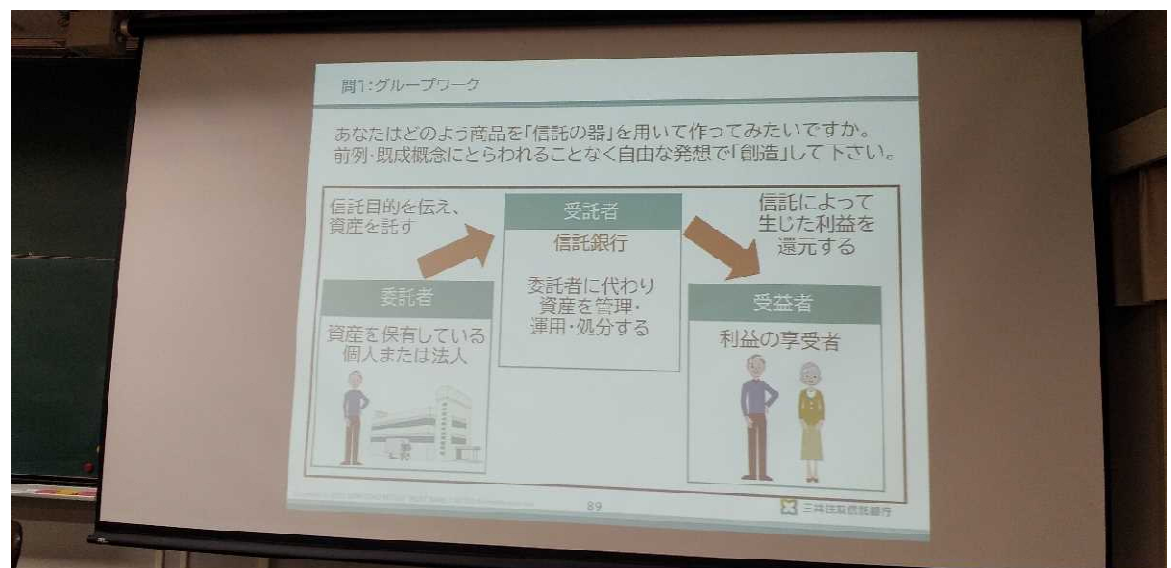
講義風景②人事担当湯浅氏によるクイズ「なるほど・ザ信託」出題



講義風景②人事担当湯浅氏によるクイズ回答の説明



講義風景③グループ討論のテーマと城講師の説明





講義風景④グループワーク各組発表

